



返し目をこする行為から発生します。症状が強い患者さんでは、目の周りの皮膚が乾燥して分厚く、眼球運動やまばたきで目とまぶたが擦れるため角膜炎や結膜炎が治りにくくなります。これがまた目の痒みの自覚症状を悪化させるのです。

このような悪循環を断ち切るために眼科でもスキンケアを重視します。目のまわりに使う軟膏にはステロイド剤、免疫抑制剤、保湿剤があります。下まぶたのラインを基線にして目尻から頬骨の辺りまで、上の方は眉毛の外側を意識して塗り広げます。痒みや炎症が強いときしかケアをしないとアトピーは悪化していくので、調子が良いときこそ日頃のケアを怠らないことが重要です。

(伊田眼科院長・伊田 宣史)

Q 私は物心が付く頃から、

軽度く中度の症状かとは思いますが、アトピーに悩んでいます。年を取り発症する部位も広がっています。

そして最近、目がひどく痒くなることがあります。就寝中も擦って目が覚めたりと、アトピーなら当たり前のことでも、目は怖いです。アトピーと目の関係を教えてください。また、他の部位とは違った、目特有の気を付けるべき点などがあれば教えてください。

子供のときアトピー素因があっても軽快して症状が出ない人もいますが、思春期から成人にかけて皮膚炎が悪化すると眼合併症も徐々にひどくなります。白内障や網膜剥離といった重症の合併症は、痒みのため繰り返す

(33歳男性)

A アトピー性皮膚炎に関連した眼合併症は、目のまわりの皮膚に眼瞼縁炎、眼

瞼炎、眼瞼皮膚炎、目の